

すばらしい土木技術をもういちど

# 第74回 EVENING THEATER

## 子どもと一緒に見よう！夏休み特集

2013年8月21日(水) 16:00 開場 16:30 開演 参加無料

土木学会 講堂 (JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分)

小学生高学年以上、一般の方大歓迎です！奮ってご参加下さい！



文部科学省選定, 第23回土木学会映画コンクール最優秀賞 土木学会選定

### パッテンライ！！

～南の島の水ものがたり～ 2008年,90分

企画：緒方英樹 監督：石黒 昇

制作：「パッテンライ！！南の島の水ものがたり」制作委員会, 虫プロダクション

台湾・嘉南の大地を一大穀倉地帯によみがえらせ、現地の人々から今なお深く敬愛されている日本人土木技師八田與一。この作品は八田與一が台湾総督府内務局土木課在職中に責任者として携わった当時アジアといわれた烏山頭ダムと延長24,000kmにおよぶ灌漑用水路の大規模土木事業（水利設備全体が嘉南大しゅう（土偏に川）と呼ばれている。）を舞台に、台湾人少年「エイテツ」が八田與一の土木事業にかかる情熱に憧れ、自ら土木技師となって嘉南大しゅうの完成を迎えるまでの物語をアニメーションで綴っています。

登場する少年少女を取り巻く複雑な社会情勢、内地（日本）と本島（台湾）あるいは沖縄といった政治的な背景もたらず影の部分や、今日の糧を得るために必死に働く親の姿に共感と反発を覚える少年とそれをわかりつつも目の前の現実を直視しろと叱る父親、あるいは夢を持って生きろと勧める祖父の存在感など、家族・世代間の葛藤を織り込みながら、大規模土木事業を通して、子供達が抱く夢と憧れをかなえていくというロマン溢れる内容であり、感動的なシーンも数多く散りばめられています。また土木事業の意義・必要性、情熱溢れる土木技師の姿を世に広く知ってもらいたいとの強い訴えかけが底流に流れており、土木に対する共感を呼び起こす、最優秀に相応しい作品です。子供達の数多い夢のひとつに是非とも土木技師が加えられればと願いたいです。

### 「三陸の奇跡」と「命の道」

～東日本大震災から学びました～ 2011年 5分57秒

企画・制作：釜石市・釜石市立釜石東中学校・釜石市立鶴住居(うのすまい)小学校



釜石市立釜石東中学校と鶴住居小学校の皆さんが、自分たちの言葉で、3月11日の地震発生直後の出来事を語っています。地震による大津波に襲われ、小中学校の皆さんは上へ上へと高台に逃げていきました。やっとの思いでたどり着いたのは、6日目の3月5日に開通したばかりの「釜石山田道路」。日も暮れ雪の中で救助を待っていましたが、45号線は不通で身動きが取れません。この状況を救ったのが釜石山田道路でした。通りかかった数台のトラックに乗り込み 約600人の生徒 児童さんは市内の体育館に避難することができました。釜石山田道路は、子供たちを救ったまさに「命の道」だったのです。

HPにて参加申込み受付

<http://committees.jsce.or.jp/avc/>



土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。イブニングシアターは、CPDプログラム(2単位)です。

会員証でCPDポイントの自動登録が可能ですのでご参加の際にご持参ください。

問合せ先：土木学会土木図書館 土木技術映像委員会担当